

産学連携で大田のモノづくりを活かす 「迫るリスク！見える化します」 ゼロエネルギーの検知システム

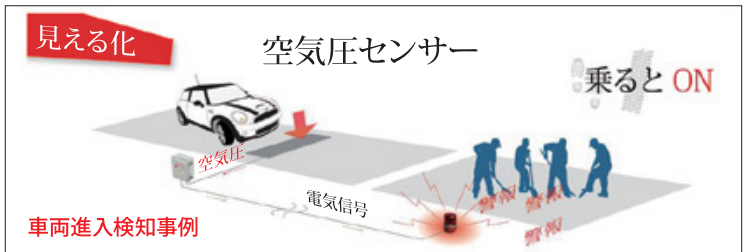
ラスク

ラスク(大田区羽田旭町、伊藤隆則社長、03・6423・2901)は、平成26年6月にモノづくりと電子部品販売の2本柱で起業した。「Risk Alarm Systems Corp.」の頭文字を取った社名の由来通り、緊急性のあるリスクをセンサーで検知し、アラームで人々に知らせる製品やシステムをつくり社会に貢献している。

産学連携のもと、大学教授から技術の原案の一部を提供いただき、同社が製品化や実用化を推進している。また、今回ご紹介する「車両通過検知システム」は東京都のトライアル発注認定と東京都中小企業振興公社の支援商品認定も受けており、自信をもってお勧めできる製品である。

既存の検知センサーが機能を維持するために必要なエネルギー(主に電気)の代わりに、同社の代表製品であるゼロパワーの空気圧センサーは圧電素子をコア技術とし、車や人の踏み圧を電気信号に変えて利用するエコロジーなスイッチ装置として特許(特許番号5770397号)も取得している。道路・建設工事、工場や倉庫の出入り口、防犯システム、介護福祉施設などに納入実績をもち、通信機能を有したコントローラの準備もある。

2つ目の柱である電子部品の販売は、国内外のCPU、FPGA、メモリ、リニアICをはじめ、スイッチやコネクタなどの機構部品、抵抗・コンデンサに至るまで電



「車両通過検知システム」空気圧センサーのイメージ図

子分野なら
すべて取扱
う。部品を
集めるだけ
ではなく基
板アッセン
ブリも、大
田モノづく
りのネット
ワークを活
かし幅広く
対応してい
るので、少
量多品種か
ら量産まで
お困りの際
はぜひお声
がけくださ
い。